

# TOKYO 商工連 Plaza

とうきょう商工連プラザ

2022

1

vol.363

商工会は 行きます 聞きます 提案します



## 新年のご挨拶



東京都商工会連合会  
会長 山下真一

新年明けましておめでとございます。  
令和四年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

多摩・島嶼地域の中小・小規模企業が直面する状況は、コロナ禍の長期化による甚大な影響に加え、従来からの人手不足、生産性向上や事業承継問題が継続しており不透明感が一層増えています。さらに脱炭素社会、デジタルトランスフォーメーション(DX)、持続可能な開発目標(SDGs)などの社会的な課題に中小・小規模企業と地域の産業がどう取り組んでいくかが問われています。

コロナウイルスの感染状況は新たな変異ウイルスの出現など先を見通すことが難しいですが、そうした中でも多くの中小・小規模企業が今後の事業を様々に変革して新たな環境に適応していることとしていきます。商品・サービスの提供方法の変更、新商品・サービスの開発、顧客や販売先の変更などに挑戦しようとしています。こうした取組こそが中小・小規模企業と地域産業の持続的発展へとつながります。

東京都商工会連合会では、こうした状況を踏まえて「2025年多摩島嶼商工会等ビジョン」を改訂し「小規模事業者から理解され、信頼され、利用される商工会」を層目指しています。そのため基本目標として第一に小規模事業者の課題を解決し、事業承継と将来にわたる発展を実現

現、第二に新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の変化に対応して多摩島嶼地域の発展を実現、第三に若い職員が夢と希望を持って働き、育っていく商工会の実現に取り組んでいます。

激変する経営環境下での中小・小規模企業の支援ニーズに的確に対応した専門家等による直接のアドバイスや事業者に寄り添った商工会経営指導員による伴走型経営支援をこれまで以上に充実させて支援していきます。

また、中小・小規模企業の改善・発達を図るためにはデジタルトランスフォーメーションの推進による生産性向上や、新しい日常の定着化に向けたICT化の推進が不可欠です。商工会はこの分野での新たな支援を開始します。

ポストコロナを見据えて大都市東京の近郊にある自然と融合した多摩や島嶼の魅力や観光需要やビジネスチャンスに結び付けることは地域の活性化に重要です。広域的なネットワークの「多摩観光推進協議会」を活かして、多摩を訪れて体験するプロジェクトや多摩地域や島嶼地域の持つ魅力を海外や国内へ広く発信する活動を進めます。

この厳しい困難を乗り越えて多摩・島嶼地域の経済回復と新たな飛躍、持続的発展に向けて、二十七商工会の役員と一体となって中小・小規模企業の経営力強化と経済基盤の整備に取り組み、多摩・島嶼地域の振興を推進して参ります。

## CONTENTS

- ② 令和4年「年頭所感」小池百合子東京都知事
- ②～③ 27商工会会長・役員「今年の決意・抱負」
- ④ 令和4年度の東京都予算に対する団体要望ヒアリング  
「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模支援、小規模企業振興、観光振興の3つを重点に
- ⑤ 自由民主党の「国家予算・税制等要望聴取会」に出席  
「金融・助成・税制の見直しや拡充、小規模企業のDX化に向けた情報系人材の確保・育成」など、きめ細かな支援を要望
- ⑥ 第61回 商工会全国大会  
「コロナ禍を乗り越えるための大型経済対策の早期実施」など6項目を決議  
「対策の温かい風を、地域の隅々まで」と岸田総理
- ⑦ 三鷹商工会60周年/産業交流展2021
- ⑧ <連載>「商店街の繁盛店」(マゼラン・東大和市)



今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

# 上げます

2022年元旦 東京都商工会連合会



東京都商工会連合会(稲城市商工会)会長  
副会長 **奈良部 義彦**  
「努力に勝る天才なし」



東京都商工会連合会(国分寺市商工会)会長  
副会長 **込山 雄茂**  
「会員と一緒に笑顔を作る」



東京都商工会連合会(福生市商工会)会長  
会長 **山下 真一**  
「地域の発展に尽力し会員から頼られる商工会を目指す」



大島町商工会(連合会理事)  
会長 **岡山 正宏**  
「雲外蒼天!様式の変化に素早い対応を目指す」



狛江市商工会(連合会理事)  
会長 **佐藤 高志**  
「市内事業者のパワーアップと連携を支援!」



西東京商工会(連合会理事)  
会長 **松川 紀代美**  
「会員のため地域のため、一丸となつて力を尽くします」



昭島市商工会(連合会理事)  
会長 **平畑 文興**  
「逆境の時だからこそ、会員事業所への支援を層強化」



瑞穂町商工会(連合会理事)  
会長 **高水 英夫**  
「新たな魅力価値を共創する商工会を目指します」



羽村市商工会(連合会理事)  
会長 **島田 哲二郎**  
「50年の歴史を礎に先ずは、はじめの歩」

令和四年

## 年頭所感



東京都知事

### 小池 百合子

明けましておめでとございませう。

令和4年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年の夏、1年の延期を経て東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。幾多の困難に見舞われながらも、力の限り躍動するアスリートの輝きは、今も私たちの脳裏に鮮やかな印象を残しています。その姿は、自らの可能性に限界を設ける必要などないことを気づかせてくれました。

世界中のアスリートたちが集うオリンピック・パラリンピックは、まさに、「多様性と調和」の象徴です。この精神を、東京のまらの至るところに根

付かせていきたいと思ひます。大会のレガシーを大切に育て上げること、互いの違いを認めながら、共に支え合う社会を築き、人々が暮らしやすい真の成熟都市を実現してまいります。

そのためには、今、私たちが直面する危機を乗り越えなければなりません。新型コロナウイルス感染症に対する都民の皆様の御協力に、改めて感謝申し上げます。東京都は、これまでの闘いの中で培った知見や経験を最大限活用することで、先手先手の対策を講じ、東京の経済を再生・回復の軌道に乗せます。気候変動という、もう一つの大きな危機に対しても、日本全国さらには世界各都市と力を合わせながら対策を先導してまいります。いつ起こることも知れない大規模地震や、多発化、激甚化する風水害など、自然災害への備えも固め、危機管理を徹底いたします。

そして、ピンチをチャンスに変えていくのは、「人」であります。東京の活力の源は、都民の皆様お一人お一人です。都民・事業者の方々をしっかりと支え、新たな挑戦を力強く後押しする。東京が誇る「人」の力で、持続可能な都市へと進化する「サステナブル・リカバリー」を成し遂げ、共に明るい未来を切り拓いてまいります。

新しい年が、皆様にとって幸多き素晴らしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和四年 元旦



多摩・島しょ地域の中小・小規模企業の繁栄・躍進に向け一層の支援をいたします。

# 謹んで新年のお慶びを申し

「」は今年の決意・抱負

 <p>小金井市商工会(連合会理事) 会長 <b>信山 勝由</b> 「コロナ後の新時代に向け、信頼される商工会を目指す」</p>	 <p>小平商工会(連合会理事) 会長 <b>鈴木 庸夫</b> 「W・I・H・I・C・O・N・A時代の地域経済発展の担い手となる！」</p>	 <p>清瀬商工会(連合会理事) 会長 <b>内野 光裕</b> 「可能性は無限大！商工会が地域を元気に！」</p>	 <p>日野市商工会(連合会理事) 会長 <b>小林 昭治</b> 「商・工・建、ワンチームで日野に活力を」</p>	 <p>三鷹商工会(連合会理事) 会長 <b>岩崎 守利</b> 「新時代に向け未来志向の地域創生を成し遂げよう！」</p>	 <p>東京都商工会連合会 専務理事 <b>傳田 純</b> 「よほどの縁ですね。一丸となつて勝利です！」</p>	 <p>東京都商工会連合会(三宅村商工会会長) 副会長 <b>長谷川 一也</b> 「半世紀の歴史を糧に一層信頼される商工会を目指す！」</p>
 <p>武蔵村山市商工会(連合会理事) 会長 <b>田中 伸彦</b> 「強固な団結力で、会員をがっちり支援」</p>	 <p>東大和市商工会(連合会理事) 会長 <b>高橋 章</b> 「歴史的苦難を乗り越えて取り戻す街の活気と経営活力」</p>	 <p>あきる野商工会(連合会理事) 会長 <b>松村 博文</b> 「地域経済復興元年！一丸となつて前進！」</p>	 <p>国立市商工会(連合会理事) 会長 <b>桂 耕史</b> 「混沌とした時代を好機と捉え、進化する商工会であれ」</p>	 <p>東村山市商工会(連合会理事) 会長 <b>増田 敏喜</b> 「様々な環境変動に適切に対応できる体質を目指して」</p>	 <p>東久留米市商工会(連合会理事) 会長 <b>井田 清治</b> 「安心・安全・信頼の商工会づくり」</p>	 <p>調布市商工会(連合会理事) 会長 <b>柳澤 勇</b> 「地域を支える事業者を全力で支援します！」</p>
 <p>小笠原村商工会(オブザーバー) 会長 <b>打込 由美子</b> 「おかげさまで、世界自然遺産登録10周年を迎えました」</p>	 <p>神津島村商工会(オブザーバー) 会長 <b>畝本 俊和</b> 「言行一致、有言実行あるのみ」</p>	 <p>新島村商工会(オブザーバー) 会長 <b>前田 安久</b> 「事業者の皆様が苦境から脱却する助となる商工会に」</p>	 <p>日の出町商工会(連合会監事) 会長 <b>原田 輝和</b> 「商工会の新時代到来！」</p>	 <p>八丈町商工会(連合会監事) 会長 <b>間仁田 聡</b> 「頼られる商工会に！地域経済活性化！」</p>	 <p>東京都商工会女性部連合会(連合会理事) 会長 <b>佐藤 和美</b> 「地域の活性化を目指し女性部頑張ろう！楽しもう！」</p>	 <p>東京都商工会青年部連合会(連合会理事) 会長 <b>河合 敬則</b> 「青年部の力を地域に見せる1年にしよう!!」</p>

令和  
4  
年度

## 東京都の団体要望ヒアリング

「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模支援」  
「小規模企業振興」、「観光振興」の3つを重点に要望

東京都商工会連合会（都商工連）の山下真一会長は11月18日、「令和4年度各種団体からの東京都予算に対するヒアリング（団体要望ヒアリング）」に出席しました。新型コロナウイルスの感染拡大を防止するためにWeb会議とし、都庁と都商工連をネットで結んで行われました。また、当日、小池百合子都知事が欠席のため、潮田勉副知事が都商工連の要望に対して回答しました。

山下会長は、ヒアリングの冒頭、多摩地域2カ所（8月2日～9月30日）にかけて実施した商工会・商工会議所の会員企業などを対象とした新型コロナウイルスのワクチン接種に触れ、「多くの事業者から『困っていたのでありがたい』『接種できてお客様に安心してもらえる』など感謝と喜びの声が寄せられた」と述べ、東京都に対して感謝を伝えました。

今回のヒアリングでは、要望として6つの項目を挙げました。そのうち「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模支援」、「小規模企業振興」、「観光振興」の3つを重点要望としました。

「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模支援は、中小・小規模企業の生産性向上への支援、事業承継・創業に対する支援、ポストコロナ下での新たな地域活性化への支援などを指します。いずれも感染を抑えながら生産

令和4年度

## 東京都予算に対する要望

- 一. 「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模企業支援
- 二. 小規模企業振興
- 三. 観光振興
- 四. ものづくり振興
- 五. 多摩地域要望
- 六. 島しょ地域要望

(太字は重要項目)

性を上げて新たな事業を展開しようとするもので、デジタルトランスフォーメーション(DX)（P.5参照）を推進し、生産性を向上させることが喫緊の課題だとしています。また、事業の継続、承継に取組む小規模企業にとっては、引継ぎ後の発展までを見据えた経営と資金の両面での集中的な支援が必要だと強調しました。

小規模企業振興では、商工会などが小規模企業に寄り添って支援を強化できるよう予算を確保し、支援の実態に

を求めました。



▲団体要望ヒアリングで東京都予算に対して要望する山下会長

合わせて柔軟に運用できるようにするこ  
とや、円滑な事業承継への支援強化に加え、「多摩・島しょ経営支援拠点」の充実などへの配慮

このほか、ものづくり振興も主要事項の一つとして挙げました。また、多摩地域と島しょ地域の商工会独自の要望として島民の生活や事業活動を守るために、離島航空路の便数確保や燃料の補助制度などの支援、小笠原空港の早期開設について要求しました。

要望に対して潮田副知事は、「新しい日常」の定着に向けた中小・小規模企業支援について、「ポストコロナを見据え、DXで生産性の向上を後押しし、多摩地域の産業支援拠点を有効活用しな

がら創業促進にも取り組みたい」との方向を示しました。また、事業承継では「事業だけではなく経営資源の引継ぎなども円滑にできるように支援していく」と回答しました。

小規模企業振興では、「地域の身近な支援機関である商工会の相談対応という支援体制を確保しつつ、柔軟かつ継続的に行っていくことが重要」と回答しました。働き方改革も積極的に取り組む課題であるとし、「中小・小規模企業で働く皆さんが計画的に休暇が取れるよう、情報提供や相談対応などにきめ細かく取組んでいきたい」と支援を約束しました。

観光振興の面では「観光事業は地域経済の活性化のための重要な事業であり、感染防止と両立させながら支援する」と回答。豊かな自然、特色ある産物など、多摩・島しょの観光資源を組み合わせた観光施策を考えていきたいとし、「商工会、観光協会などのネットワークをフルに活用して、地域の魅力にあふれた観光ルートを開発していく」と支援に前向きな姿勢を見せました。

ものづくり振興については、ものづくり産業の集積は、東京都の産業施策を決めるために不可欠な存在であるとし、「集積を活用したオープンイノベーションによる新技術を導入し、新製品開発の促進につけていきたい」と述べました。

令和4年度

自由民主党の

## 国家予算・税制改正等要望聴取会

東京都商工会連合会

「コロナ感染拡大の長期化は経済活動に制約を与え、人手不足や事業継承問題もあって経営の不透明感が増大。ポストコロナで感染を抑えながら「新しい生活様式」を定着させるには金融、税制などの見直し・拡充が必要。SDGs、脱炭素社会、DXなど社会的かつ今日的な課題に対し、中小小規模企業がどう取組むかが問われる」

東京都商工会連合会（都商工連）は11月19日、東京・永田町の自由民主党本部で開かれた同党東京都支部連合会の「令和4年度国家予算・税制改正等要望聴取会」に出席し、「制度改正」、「小規模企業振興」、「地域」の3分野にわたって、計14項目を要望しました。

山下真一都商工連会長は聴取会の冒頭で、新型コロナウイルス感染拡大の長期化に触れ、「やや沈静化したとはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大は、多摩・島嶼地域の中小・小規模事業者の経済活動に現在も大きな制約を与えている。加えて従来からの人手不足、事

業継承問題もあり、経営の不透明感が増している。今後は、コロナ感染を抑えながら「新しい生活様式」を定着化させるという、難しい状況にある。これを十分にご理解いただき、金融、助成、税制の見直しや拡充など新たな支援をお願いしたい。また、

今後はSDGs、脱炭素社会、DXなどの社会的な課題に中小・小規模企業として、どう取り組むかが問われる。中小・小規模企業でも取り組めるよう強力で推進すべき」と訴えました。

3分野のうち「制度改正」では、ポストコロナに向けた生産性向上支援の拡充・強化など5項目を要望しました。従来の経営形態が維持できなくなった中小・小規模企業は、新事業に取り組むか新たな業態に転換することが必要になります。経営基盤のデジタル化が遅れているとスムーズな転換ができません。中小・小規模事業者のDXは不可欠であるとし、情報系人材の確保や育成等、きめ細かな支援の強化を求めました。

一方、働き方改革では中小・小規模の実態を踏まえたきめ細かな支援

令和4年度  
国家予算・制度等に対する要望

## I. 制度改正要望

- 「ポストコロナ」に向けた生産性向上支援の拡充・強化について
- 中小・小規模企業の円滑な事業承継に向けた支援の強化について
- 地域別最低賃金の決定方法の改善について
- 中小・小規模企業の実態を踏まえた「働き方改革」の実施について
- 消費税制度の見直しと価格転嫁等に対する支援の継続と強化について

## II. 小規模企業振興要望

- 小規模企業の持続的発展に実効性ある支援の拡充・強化について
- 小規模企業向け融資制度の一層の充実について
- 官公需のさらなる中小・小規模企業配分について
- 中小・小規模企業の社会保険料の負担軽減について

## III. 地域要望

- 横田飛行場の民間利用促進について
- 多摩地域における都市基盤整備の早期実現について
- 商店街の活性化について
- 離島航空路線における現行便数の維持について
- 小笠原空港の早期開設について



▲井上信治自民党東京都支部連合会政調会長に要望書を渡す山下都商工連会長（昨年11月）

を求めるとともに、円滑な事業承継に向けた支援の強化や、地域別最低賃金の決定方法の改善などについても要

望しました。

「小規模企業振興要望」では小規模企業の持続的発展に実効性のある支援の拡充・強化や、融資制度の充実、官公需のさらなる中小企業への配分などを要望しました。

「地域要望」では、横田飛行場の民間利用の促進、多摩都市モノレールの延伸、多摩地域から羽田空港へのアクセス強化といった都市基盤整備の早期実現のほか、懸案となっている小笠原空港の早期実現についても要望しました。

要望聴取会には、山下会長と込山雄茂副会長、奈良部義彦副会長、傳田純専務理事、清水晋事務局長が出席し、要望を伝えました。山下会長が要望の骨子を延べ、傳田専務が制度改正要望などの重点項目を中心に補足説明しました。

(\*) SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される (外務省HPから)。

(\*\*) DXは「デジタルトランスフォーメーション」を略したことは、変化や変換という意味があるトランスフォーメーションの「トランス」を英語圏では「X」と表記することがあるため、「DX」と略されるようになった。日本語では「デジタル変革」とも訳される。デジタル技術を使って、人手のかかっていたサービスを自動化したり作業を効率化したりするのが「デジタル化」だとすると、DXはデジタル技術やデータを駆使して作業の一部にとどまらず社会や暮らし全体がより便利になるよう大胆に変革していく取り組みといえる (NHKサクサク経済HPから)。





▲6項目の大会決議を掲げた商工会全国大会

森義久全国連会長の大会会長挨拶の後、岸田総理が祝辞を述べました。総理は「コロナ禍で困難に直面している事業者に対し、安心と希望を届けられるよう、昨年の持続化給付金

全国商工会連合会（全国連）、都道府県商工会連合会、市町村商工会は11月11日、東京・丸の内東京国際フォーラムで「第61回商工会全国大会」を開きました。新型コロナウイルスの感染防止のための各県連に対する人数制限や検温などの感染防止策を施行して行われたため、参加者は通常に比べ約半分の1600人でした。来賓に岸田文夫内閣総理大臣、萩生田光一経済産業大臣をはじめ、自由民主党、公明党、立憲民主党の代表や、多数の国会議員を迎えました。大会では、政府や政党に対して商工会の意見を表明し、「コロナ禍を乗り越えるための大型経済対策の早期実施」など6項目を決議しました。

## 第61回 商工会全国大会 開催

「対策の温かい風を、地域の隅々まで」と岸田総理  
**コロナ禍を乗り越えるための  
 大型経済対策の早期実施**  
 など**6項目**  
 を**決議**

並みの支援を、事業規模に応じて11月から3月までの5カ月間まとめて一括給付する。さらに持続化補助金も今回の経済対策に追加する。経済対策の温かい風を、地域の隅々まで生き渡らせるためには商工会の皆様のご協力が不可欠だ」と商工会に協力を求めました。

また、岸田政権の最優先課題として取り組むのが「成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現」だとし、「日本の経済を支えているのは、地域の雇用を守り文化を紡ぐ全国の中小企業・小規模事業者の皆様。とくに、高齢化や過疎化などの社会課

題に直面する地域こそ、デジタル化によって成長するポテンシャルが高い。地域から新たな時代の成長を生



▲「成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現に取り組む」と岸田総理

## 大会決議

### ・コロナ禍を乗り越えるための大型経済対策の早期実施

①持続化給付金の再給付（または月次支援金の拡充）/②地域の観光振興策及び消費喚起策の実施/③事業再構築補助金の延長及び基金の上乗せ/④雇用調整助成金の現行水準での延長/⑤省庁横断的な中小企業・小規模事業者政策の決定・予備措置の実施

### ・中小企業・小規模事業者支援策の拡充

①小規模事業者対策を含む中小企業対策費の大幅拡充/②伴走型小規模事業者/③専門家派遣事業の拡充/④生産性向上支援の継続・拡充/⑤地方での起業・新分野展開に対する支援/⑥事業承継・引継ぎ補助金の複数年度・通年公募化、金融制度の創設/⑦伴走型で小規模事業者を支援する人員の増員/⑧地方自治体の小規模事業者対策の予算措置状況の見える化/⑨小規模事業者に寄り添った補助金等申請手続きの簡素化

### ・販路開拓支援の拡充及びEC化の推進

①EC活用の推進とリアル販売の一体化事業/②中小企業・小規模事業者が目指す商圏に応じたビジネスマッチング事業/③海外マーケティング拠点との連携事業/④地域と連携したDX化支援

### ・税制・金融・労務支援等の制度の改正・拡充

①消費税制度の見直し/②金融支援の強化/③中小企業・小規模事業者の活力向上のための税制改正/④最低賃金の現行水準の維持/働き方改革・生産性向上への対応のための支援強化/⑥社会保障負担の軽減

### ・リスクマネジメント支援の強化及び災害からの復興

①経営者等のリスクマネジメント力及び共済・保険制度の推進/②商工会館の防災強化/③中小企業・小規模事業者災害対策基金（仮称）の造成による迅速かつ柔軟な対策の実施/④被災事業者や被災地域の早期復興支援の強化

### ・地域を支え、共に歩む唯一の経済団体としての商工会の組織力強化

①会員増強と組織力向上に向けた取組みの推進/②地域経済の担い手である青年部・女性部の活動推進/③全国商工会社青年部連合会の全国組織化の推進/④商工会組織としてのDXの推進/⑤月刊商工会を活用した各種施策普及の推進

み出すデジタル田園都市国家構想のもと、大胆な交付金措置、デジタルインフラへの投資、規制改革など、あらゆる政策を総動員して地域を活性化する」と中小・小規模企業向けの経済対策に全力を尽くすことを約束しました。

萩生田光一経済産業大臣が次に祝辞を述べ、続いて各政党を代表し、自由民主党の茂木敏充幹事長、公明党の山口那津男代表や、多数の国会議員、関連団体などが祝辞を述べました。

## 先人の意思を事業者の支援に生かしたい

### 三鷹商工会 創立60周年!! 記念式典・記念事業を開催

三鷹商工会が11月9日、創立60周年の記念式典・記念事業を開催しました。新型コロナウイルスの影響で1年繰り延べとなり、今回もコロナの感染状況を見極めた結果、リアルとオンラインのハイブリッド形式での開催となりました。三鷹商工会は昭和35年（1960年）に設立された東京都では最初の、日本でも2番目に設立されたという伝統ある商工会です。記念式典は、是井広則副会長の「開式の言葉」で始まり、岩崎守利三鷹商工会会長が式辞を述べました。続いて功労者に対し感謝状が贈られました。

岩崎会長は式辞の中で「設立以来、三鷹市行政の協力や三鷹市議会の理解があったからこそ、創立60周年の良き日を迎えられたことを忘れてはいけません。テレビドラマの渋沢栄一も『利



▲式辞を述べる岩崎三鷹商工会会長

益は社会に還元しなければ経済活動は持続しない」と言っている。先人の意思を一人でも多くの事業者の支援に生かしたい」と述べました。

河村孝三鷹市長は「コロナ禍を、市と三鷹商工会はタッグを組んで乗り越えてきた。今後も初心を忘れず地域経済を戻していこう。ワンチームで頑張ることが大事」とエールを送りました。

また、東京都商工会連合会（都連）の山下真一会長は祝辞の中で「三鷹商工会は、地元製造業の受注拡大や新規開拓につながる武蔵野エリア産業フェスタや、人材育成事業の三鷹実践経営塾を運営するなど、先進的な取り組みを行っている。中でも『三鷹商店会DX化情報基盤アプリシステム構築事業』に三鷹商店会連合会と共同で申請するなど、積極的な姿勢が目立つ」と賛辞を送り、「今後も都連はしっかりと応援させていただくと支援の方針を示しました。

第2部の記念事業では、株式会社まちづくり松山の加戸慎太郎氏が「これからのまちづくりと再開発」というテーマで講演しました。

事流【採用】（12月1日）▽西東京商工会・記帳相談員関口翔

### 中小企業による国内最大級のトレードショー

## 産業交流展2021 (リアル展)

### 東京ビッグサイトで開催

東京都、東京商工会議所、東京都商工会連合会（都商工連）などが主催する中小企業による国内最大級のトレードショー「産業交流展2021 (リアル展)」が11月24日から3日間、東京ビッグサイト南展示棟で開かれました。また、オンライン展は11月17日から12月10日にわたって開催されました。

今回の産業交流展には「情報」「環境」「医療・福祉」「機械・金属」の4分野などに約500社・団体が出展しました。社会環境、産業環境の変化や課題に、柔軟かつ先進的に対応する技術やサービスをもつ中小企業が集結しました。

特設ゾーンとして「脱炭素ゾーン」「リモート商談ゾーン」「感染症対策ゾーン」などが設けられました。

都商工連は、機械・金属ゾーンに独自ブースを設けました。多摩地域のものづくり企業10社が出展、技術力・製品力の高さをアピールしました。また、瑞穂町商工会が「瑞穂ファントム工場」で、東久留米市商工会工業部会も機械・金属ゾーンに出展しました。三鷹商工会と小金井市商工会は武蔵野エリア販路開拓事業として武蔵野商工会議所と合同ブースを設けました。



▲産業交流展に出展した都商工連の独自ブース

### 事業主の皆さまへ

## 就職氷河期世代を対象にした 職場実習・体験の受け入れにご協力ください

■この「職場実習・体験」は、現在も不本意ながら不安定な仕事に就いているなど、さまざまな課題に直面している就職氷河期世代の方々に、就労体験を通じて業種・職種に対する理解を深めていただくことを目的に実施するものです。

■事業主の皆さま、職場実習・体験の受け入れにご協力をお願いします。

### 職場実習・体験の内容

事業所の職員の方が、実際に従事している業務の一部または全体を体験・見学できるような内容としていただきます。

### 受け入れの流れと手続き

#### 1 「受入条件票」の作成・提出

職場実習・体験の内容や受け入れ条件を様式に記入いただけます。

#### 2 希望者情報の受け取り

貴社での職場実習・体験を希望する方の情報をハローワークからお送りします。

#### 3 実施計画書の作成・提出

受け入れを承諾いただける場合、実施計画書を作成・提出いただけます。

#### 4 職場実習・体験の実施

必要に応じて、労働局やハローワークの担当者がサポートします。

#### 5 「実施結果報告書」の作成・提出

職場実習・体験終了後、実施結果報告書を作成・提出いただけます。

#### 6 謝金の受け取り

受け入れ人数1人当たり最大2万円の謝金を労働局よりお支払いします。

### お問い合わせ・連絡先

\*詳細は、以下の係または最寄りのハローワークまでご連絡ください。

東京労働局 職業安定部 職業安定課 若年雇用係 TEL:03(3512)1657

※氷河期世代は、おおむね1993(平成5)年から2004(平成16)年に学校卒業期を迎えた世代を指しますが、本事業は、おおむね35歳以上55歳未満の方を対象にします。  
※本事業は、就職氷河期世代の方に、安定就労に向けて職場体験を積んでいただくためのものです。実習終了後に受け入れ先事業所に雇用義務が生じるものではありません。





世界に出かけた気分で非日常を楽しんで

東大和市  
多国籍料理店  
世界の料理 マゼラン

オーナーシェフ 石井 哲也 さん  
ホールチーフ 石井 みどり さん



長く続くお客様と良いお付き合いができそうな場所

都立高校で、夫は地理、妻が数学を教えていた教員同士の夫妻が、レストラン経営に乗り出したのは2年前の5月のこと。動機は実にロマンチックで「世界に出かけた気分を味わえるレストランで、お客様に非日常を楽しんでもらいたい」からだ。

2人とも旅行好き。加えて、現地の食べ物に対する興味が半端ではない。これまでに忙しい時間をやり繰りして30カ国以上を訪ねている。インドのデリーではカレーやチャイを毎日味わった。「インドにはカレーという料理はないが、すべてがカレー味。ゆえにインド人は毎日のようにカレーを食べていることになる。ナンは一部の地域でしか食べない。チャイは思っていた以上に甘い」と解説するのはオーナーシェフの哲也さん。ベトナムのホーチミンではフォーを食べる。異国のメニューでありながら日本人にも好まれる味。「店で使う際には、とくにスープで現地の味を忠実に再現したい」と、みどりさん。

マゼランの夜のコース料理で必ず出しているボルシチはロシアのウラジオストックで味を確認したそうだ。「店によって味は違うが、おいしいものはピーツの味と赤さが際立ち、サワークリームと香草のディルを添えることが絶対条件」と哲也さん。「日本で味を再現するには現地のスパイスや調味料が必要」と分析する。

レストランを開くことになったのは「地理の授業中にインドのチャイやカレーなど世界の味を試食させていたところ、生徒から「先生!こういうお店をやったら」と言われたことから。定年を2年後に控えた2018年に退職した。「世界を歩いて味わってきた料理を、リーズナブルな価格で地域の方々に提供したい。それが地域への恩返しにもなる」と考えた。妻のみどりさんにも打ち明け、同意を得た。

ただ、みどりさんは「その時は、やりたかったらやったら」というスタンスだったそうだ。実は、みどりさんも密かに「教員の仕事もいいが、いつか世界の料理を提供するお店をやりたい」と思っていた。「でも、私の思いを主人に言ったことはないのですけど」と苦笑する。

一方、ご主人の哲也さん。漠然と世界の味を提供する飲食店をやろうとしていたのだが、経営のノウハウも料理の経験もない。調理師学校で学ぶ傍ら、取りあえず東大和市商工会に相談に行く。これが大正解だった。創業前は、事業計画策定、金融、税務、創業塾案内、店舗物件情報、商店会加入、内装工事・チラシ印刷業者紹介、販路開拓などの支援を、創業後も家賃補助、

キャッシュレス決済導入、コロナ禍における応援チラシ作成・配布、CM動画製作、各種助成金申請などの支援を、東大和市商工会から受けた。店名は「マゼラン」。初めて世界一周に成功した船団を率いた探検家の名にした。

店は住宅街の中にポツンとある。駅前や大きな通りに面したところではない。「駅前などは人通りはあるが、その時だけ1回切りというお客様も多い。長く続くお客様と良いお付き合いができそうな場所を選んだ」と哲也さん。店にはチベットの彫金の皿やトルコランプなどが飾られている。海外の音楽も流れて異国情緒たっぷり。

ランチの時間帯は近くの常連さんで賑わう。最近はSNSを見て来るのか、立川や日野などからのお客様も増えているそうだ。メニューは、ベトナムのフォー、インドのカレー、ドイツの粗挽きハンバーグなどをメインにしたセットと日替りセット。価格は1,000円ほど(ハンバーグは1,290円)と、とてもリーズナブル。全セットにサラダ、スープ、副菜、デザートが付く。

夜は予約制のコース料理で気の合った仲間どうしの宴会や誕生日会などで、貸し切りの「プライベート使い」ができる。

コロナ禍で客足が大きく減った時もあったが、最近は徐々に戻ってきているそうだ。



◀ 帆船でどこまでも…

マゼランの外観▶



〒207-0014  
東京都東大和市  
南街5-24-4  
TEL:042-507-4368

URL: <https://www.magellan2019.com>